

会議資料1

北広島市水道ビジョン・ 経営戦略 改定案

審議結果報告書 (案)

北広島市上下水道事業経営審議会

審議結果報告書の提出に当たって

本改定案については、厚生労働省の新水道ビジョンに則った基本理念や安全・強靱・持続の観点からの理想像が設定されており、それらに基づいた具体的取組が定められております。

また、新型コロナウイルス感染症による影響やボールパーク・駅西口開発の効果など最新の社会情勢なども反映させている計画となっております。

今後の投資においては、重要度、優先度はもとより、施設の延命化や投資の平準化などを考慮した計画的かつ効率的な投資を行うこととしています。一方、財源においては、企業債の発行や内部留保資金等を有効活用することで、計画期間中は、現行の料金水準により事業運営を維持できる見通しとなっており、投資試算と財源試算が均衡した本計画については、概ね妥当な計画と認められます。

なお、審議の過程において、次のような意見等がありましたので、付記し報告いたします。

記

1 目標設定について

- ・経営戦略期間中の各種施策に対応した目標が掲げられているが、具体的な目標達成水準を数値化しなければ、必要十分であるかの判断が難しい。
- ・経営指標など財政的な事項についての目標が掲げられていない。

2 民間活用の視点について

・少子高齢化を迎えて民間側の人材も潤沢ではない状況があり、「民間活用」という視点に止まらず、水道事業を持続させるためのパートナーとして、民間側の課題にも目を向け、協調しながらともに水道事業を持続させていくという視点があって良いと思う。

3 表現等の工夫について

- ・投資・財政計画と本文中の説明との関連付け、公営企業の仕組み、収益的収支・資本的収支の違い、水需要や給水収益の算出方法などについて、より分かりやすい表現に改める、または、図表を使うなどの工夫が必要である。

4 有収率と老朽化の関係

- ・有収率は目に見えない老朽化を判断する指標の一つとも考えられる。

類似団体の有収率がほぼ一定の中、本市の有収率が平成 26 年以降に減少し続けていることなどから、有収率と老朽化に関連する追記の必要があれば検討されたい。

5 目標耐用年数について

- ・目標耐用年数の設定の考え方についての説明や建設改良事業との関連についての説明が必要ではないか。

その他の意見等については、別紙「議事概要」のとおりです。

【審議等の経過】

令和2年10月16日

審議依頼書交付、第1回北広島市上下水道事業経営審議会

令和3年1月8～18日

第2回北広島市上下水道事業経営審議会（書面開催） 提出意見 30件

令和3年2月5～17日

第3回北広島市上下水道事業経営審議会（書面開催） 提出意見 28件

令和3年3月8～11日

第4回北広島市上下水道事業経営審議会（書面開催） 表決書の提出

【北広島市上下水道事業経営審議会委員】

会 長 高橋 彰

副会長 細谷 洋一

委 員 関谷 浩行

委 員 田中 健司

委 員 原口 淑子

委 員 檜山 純

委 員 廣上 嘉一

委 員 吉岡 広樹